

● コミュニティ・スクール（CS）とは

学校運営協議会制度(一般的名称)を導入した学校のことです。浦安市は「学校地域連携運営協議会」と称し、その制度を導入して「CS」を立ち上げ、保護者や地域の方が、**一定の権限を持って**、学校運営に参画する協議機関として位置付けています。主な役割は、3つあります。

- ① 校長の作成する学校運営の基本方針を承認する(必須)
★ 学校運営のビジョンについて共有してください！
- ② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること(任意)
★ 地域の教育力により学校や児童生徒へ支援をお願いします！
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べるができること(任意)
★ 個人を特定しない「一般的 かつ 建設的」なご意見をお伝えください！
＊ 任用とは、昇任や転任等に関する事項を指します。

《任用に関する意見の例》

- ・ 地域連携の核となる「社会教育主事」の資格を有する教員の配置を要望
- ・ 小学校における外国語教育の充実のために、「中・高の英語の免許」を持った教員の配置を要望

学校運営を支える、
高洲小の応援団をお願いします！

● メリット・魅力は

コミュニティ・スクールの仕組みを取り入れるメリット・魅力は何？



従来より地域との連携を進めているが、コミュニティ・スクールになるメリットや魅力ってどんなところ？



コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組みを導入することによるメリットとして、主に以下の3つが挙げられます。

① 組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能性

校長や特定の教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「**持続可能な仕組み**」です。

② 当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり

学校運営協議会や熟議等を通して、子供たちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子供を育てていくのか、何を実現していくのかという「**目標・ビジョンを共有**」できます。

③ 目標・ビジョンを共有した「協働」活動

校長が作成する学校運営の「**基本方針の承認**」を通して、学校や地域、子供たちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識を持ち、「**役割分担をもって連携・協働による取組**」ができます。

● 期待したい効果は

子供にとっての魅力

- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。



教職員にとっての魅力

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。



保護者にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まります。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。



地域の人々にとっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

